

日本語学級の教室より

日本語学級 高澤 美和

筭小学校の日本語学級は、港区の外国人児童・帰国児童が日本語を学ぶ通級制の学級です。個別指導計画を作成し、それぞれの児童に合わせた指導を行っています。現在、筭小学校在籍の児童 28 名、港区立の他の小学校から 9 名、計 37 名の児童が通級しています。関係のある国は中国、アメリカ、フィリピン、パキスタン、シンガポール、ルーマニア、トルコ、ブラジル、韓国、エジプト、ウクライナ、アイルランド、イギリス、フランス、タイの 15 か国にのびります。

日本語の教室では 3 名の専任教員のもと、3 つのブースに分かれて児童が学習しています。

日本に来て間もない児童は、絵カードや具体物などを使って、身の回りの言葉や学校生活でよく使う表現、ひらがなから学びます。

文字を覚えた児童は、指でたどりながら教科書などの音読練習をしたり、分からない言葉を辞書で調べたりしています。クラスではまだ質問や発表をする自信がない児童も、日本語学級では自分から進んで質問したり、同じ時間に学習する児童同士で教え合ったりして学習しています。

覚えた言葉を使って「すしは好きですか。」などと質問し合って仲良くなったり、言葉を新たに覚えたりしているのが微笑ましいです。

学習が終わると必ず挨拶をして、自分の学級や学校に戻ります。1 日に 6 時間、次々に児童が通級し、それぞれの課題について一生懸命学習しています。

筭小学校の通級児童は、通常の日本語学習の他に「グループ活動」を行っています。日本の文化等を体験し、感想を交流する活動です。今年度の内容は、茶道、盆踊り、生け花、切り絵、琴の体験等でした。筭小学校の児童とも交流し、楽しく学ぶことができました。

☆お知らせ☆ どうぞご参観ください。

2 月 1 5 日（金）2 校時予定（学校公開日）

ワールドスタンプラリー…学習のまとめとして、関係のある国について発表し、6 年生と交流します。

2 月 2 8 日（木）の朝～1 時間目：ワールド発表…全校児童の前で、自分に関係のある国について発表します。体育館で行います。

味わい深い校舎

用務主事

時代は、昭和から平成になり、今年また新元号に変わろうとしています。

そんな世の変化の中、在校生の将来への希望と、多くの卒業生の思い出と共に、筭小学校は、西麻布の一角に佇んでいます。

昭和五十年、改築工事落成の校舎は、緩やかな斜面の立地に、四方を道路に囲まれ、正門と四つの門、一つの通用口を配しています。その他に、児童昇降口への外階段、校庭に通じる螺旋型スロープ等々、多くの特徴を有する建物です。

最新の校舎での勤務経験のある私たちにとって、不便とを感じるのも事実ですが、工夫を凝らした設計・デザインの本校校舎は、味わい深く、「修理修繕、工作、清掃等」を通して、筭小学校の「建物としての個性」を感じています。

校内照明の LED 化、体育館の空調新設工事等、児童の学校生活を支える環境整備が完了または、予定されています。

私たちも、「環境の維持管理」に努め、「味わい深い校舎」を守り、「チーム筭」の一員として仕事をしていきたいと思っています。

